

〈出席者〉久保、亀井、横山、三原、三谷、宮重（栄）（直）、三谷、尾添、小泓、木原、高田、児島、安藤、徳永、平本、川崎、元廣、吉村、溝手、松林

議題 1

- ・平成 26 年 1 月遭難（名越 實）事案の活動概要について報告
 - (1) 事案認知から 1 月 10 日までの活動概要について・・・久保対策本部長
 - (2) 現地対策本部の活動状況と長野、岐阜両県警の捜索状況について・・・亀井現地本部長
 - ① ヘリ捜索は、1 月 3 日に長野県側及び岐阜県側で捜索するも手がかり（痕跡等）無し。
 - ② 稜線の小屋（南岳、槍肩）を救助隊員自ら検索するも手がかり（痕跡等）無し。
 - ③ 3 ガリー下部にホイスト降下し、横尾小屋まで 2 名で捜索するも手がかり（痕跡等）無し。
 - ④ 他のパーティーの計画書を基に情報を集めたが、横尾小屋での接触情報以外はない。
 - (3) 第一次捜索隊（HAC 隊）の活動状況について・・・三谷副理事長
 - ① 1 月 4 日は 1 パーティー 3 名（三谷、神庭、保見）で横尾尾根末端コルから P 2 までラッセルするも手がかり（痕跡等）無し。
 - ② 1 月 5 日は 1 パーティー 3 名（三谷、神庭、保見）で横尾尾根の末端から本谷沿いを 3 ガリー末端まで捜索するも手がかり（痕跡等）無し。（ビーコン反応もなかった。）
 - (4) 第二次捜索隊（関西ガイド協会隊）の活動状況について・・・亀井現地本部長
 - ① 8 日、1 パーティー 2 名（松島、佐藤）で横尾尾根末端コルから P 2 まで踏査するも手がかり（痕跡等）無し。
 - ② 9 日は天候等状況悪化のため下山する。

議題 2

- ・遭難捜索経費の出納状況について報告
 - (1) 捜索活動資金の執行状況について・・・三原出納長
 - ① 名越眞由美さんから 100 万円資金前渡。11 日現在約 30 数万円執行済みである。
 - ② 1 月 31 日を出納閉鎖とし、残金及び出納簿の写しを名越眞由美さんへ返却する。
 - (2) 日山協山岳保険の状況について・・・三原出納長
 - ① 1 月 6 日付で保険会社（三井住友）へ対し、事故発生報告を完了した。
 - ② 保険金請求者は、名越 實（本人）である。失踪宣言確定後は法定相続人となる。
 - ③ 年度をまたいだ捜索活動及び請求可能。ヘリ捜索も対象で時効はない。
 - (3) 捜索カンパ金の処理方法について・・・三原出納帳
 - ① 「名越カンパ」の仕分け定型句と住所氏名を記載し、本会計口座に振替依頼する（会報）
 - ② 山岳会会員以外への公開は、問い合わせのあった方のみへ開示する。
 - ③ 1 月 11 日現在、カンパ総額 16 万円である。（最終的に決算し、眞由美さんにお渡しする。）
 - (4) 捜索資金及びカンパ金の会計監査は、久保会長が監査する。

議題 3

- ・今後の捜索活動の基本方針について
 - (1) 会員各位に対する継続捜索協力について・・・久保対策本部長
 - (2) 具体的な戦法について・・・亀井現地本部長
 - (3) 戦術と企画について・・・遭難対策役員と企画役員で立案
 - (4) チラシやポスター貼付を考慮しては・・・小泓さん
 - (5) 山岳雑誌への投稿も可能・・・元廣理事

議題4

・山岳会財産（装備一式）の暫定管理について

- (1) 暫定装備管理担当の受諾について・・・吉村企画担当理事が暫定兼務
- (2) 旧管理者（名越宅）からの移転日について・・・1月18日午前中（安藤・吉村）移転作業。
- (3) 財産目録との事前照合について・・・亀井副本部長が眞由美さんに連絡する。

議題5

・牛小屋高原ヒュッテの管理について

- (1) 筆頭ヒュッテ委員の名越理事に代わり、竹本ヒュッテ委員が決算事務を引き継ぐ（補助；溝手）
- (2) 土地借用の賃貸契約更新事務は、久保会長が行う。（期限は1月31日。）

議題6

・今後の遭難（再発）防止対策について

- (1) 単独登山の規制を要綱等で規定すべきか・・・横山理事長（各自3月までに考えをまとめる）
- (2) 今回の遭難原因を推測し、今回の捜索の手がかりと再発防止にできないか・・・小泓さん

議題7

・その他

- (1) 対策本部の拠点は、1月11日21時をもって馬木7-1979-26（久保宅）へ移転する。
- (2) 山岳連盟への謝礼及び事務所使用料等は、必要ないとの申し出が岳連事務局からあった。
- (3) 遭難対策本部の組織体制は下図のとおり。

